

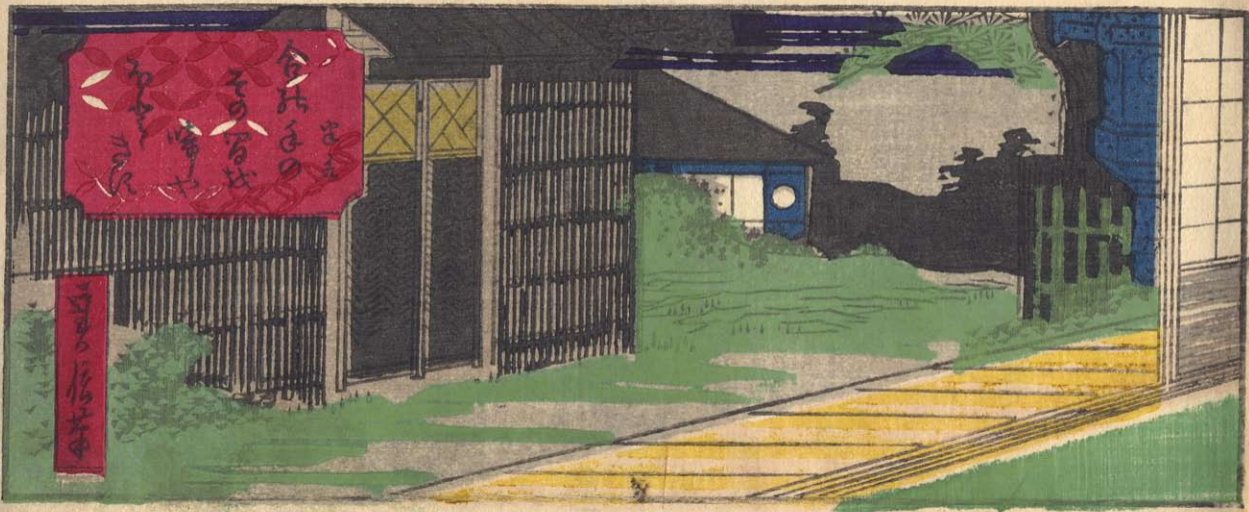
あはれ
おん
まはら

七
の
ま

ま
る
り
さ
わ
り
よ
う
こ
の
あ
は
れ
二
輯







合共手の
その宿は
知れず
また

西の宿は

第二輯序

北陽

致作とありてヤ世と海の也の也の

致と海のの下ももおもいのんん

うけ祝。等はたわつの海をあら

か。今や世間由流ち一さ。

又こも愛ふ第二編と作て

りて好君子の愛慕なりて

まませて等とぐたよくもたまふ

して波ひ流るべし浪のはち

程まる。存真の考途

ままらしいしや

浪花

一荷半ばの誌



ちぢやあるまじ

よーうそーちぢ

トモトモカウのガリ
園取千両懺 松原川

丸ゴキトの角力ゴキと金ゴキ

みみあつてみちるみ松原川みが。

ちぢちぢのちぢちぢちぢちぢ

ちぢちぢのちぢちぢちぢちぢ

ちぢちぢのちぢちぢちぢちぢ

ちぢちぢのちぢちぢちぢちぢ

ちぢちぢのちぢちぢちぢちぢ

ちぢちぢのちぢちぢちぢちぢ

ちぢちぢのちぢちぢちぢちぢ

やーさかぬんかじト

今このくろろ

奥の町安達と原 幸女屋

おやじやうくー十じゅうのご子

とものこーるおや親のあん。

まゝぬい祖い父いさぬさく

まゝと。まゝいまいこいがいまいが

まゝいまいまいまいまいまいまい

まゝいまいまいまいまいまいまい

ありまゝいまいまいまいまいまい

まゝいまいまいまいまいまい

あふささるる

あふささるる

あふささるる
あふささるる

あふささるる

あふささるる
あふささるる
あふささるる

あふささるる
あふささるる

あふささるる
あふささるる

あふささるる
あふささるる

あふささるる
あふささるる

あふささるる
あふささるる

あふささるる

あふささるる
あふささるる

あふささるる

あふささるる

たよりなきはく

たよりなきはく

美經千本樓 よし子 見がき さあま店

たよりなきはく

と。いふ。お。の。ち。の。く。

お金吾こまんとりーの道みちは

あ。い。ま。の。道みちは

て。い。ま。の。ち。の。く。

金吾こまんとの。ち。の。く。

た。い。り。の。ち。の。く。

た。い。り。の。ち。の。く。

た。い。り。の。ち。の。く。

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル
ルキアズルニルニル
ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

ルキアズルニルニル

きくふーの後ど

アノ人さんや

種ぐんの浦免軍記 琴妻辰

ちんぎの一かうぢうがくちんぎんぢうがく司ゆあき

禁裏きんぞうの後の代官しろがねと

しやしんのしん代官しん

ちんぎのしん代官しん

ちんぎのしん代官しん

十ま代官しんの勇士ゆうし

とかやう。

かんからしん

うまをた

シヤヤヤヤヤヤ

シヤヤヤヤヤヤ

花容女舞衣 下の巻切

アノヤヤヤヤこの園そのの

昔きまへ年の秋あきのころらひよ。

シヤヤヤヤヤヤヤヤヤヤ。

シヤヤヤヤあしヤヤヤヤヤヤ

ヤヤヤヤヤヤヤヤヤヤ。

ヤヤヤヤヤヤヤヤヤヤ。

ヤヤヤヤヤヤヤヤヤヤ。

今ヤヤヤヤヤヤ

ヤヤヤヤヤヤ

人女者の心

かきとくま

八陣守護城

三つがわんがー 思の

まへの出入りかた

おとこころのゆき

のちかたのまの

くちかたのまの

中城へ我を

おとこころのまの

まのまのまの

あつた

きらめかせんぬ

あふらません

いづれかきまてらまへ
珠脊山女を刺

見え目

わくわくもあふあふかく音楽の酒

— あふ子の秋のあまきるる。あふ

己らむことあふ起あがり。

あふねといあ娘がらあふ付トあま

あふらむら。あふらむら

あふらむらあふあふらむら

あふらむらあふあふらむら

あふらむらあふあふらむら

あふらむら

NSJ 2000000000

2000000000

NS 51+61 5214000000

2000000000

天

天 2000000000

2000000000

2000000000

2000000000

2000000000

2000000000

2000000000

2000000000

2000000000

Ammonite

そのりくくご

くろがきやてまていふくろくろ
魚尾柳大和付来 ねね村は

周果ツレガキごあまはららるる

るーはまきり下たるよ

世あやこねなせ女あん一世の縁えんさま。

Ammonite

トあ張あのガクハクハクハク

ちかやあまの奥おくのハクハク

あやのりくく

Ammonite

アモニテ

たがぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

よろしいものと

あやしのうらまき
繪本太閤記 かきおの辰

あま
むふらうとうら
らんまがら

ろーんふらうぢぢぢぢぢぢぢぢ

とあまドー
あんま
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

まのぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

—— 蘭かたぢぢモスえ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

あま
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

まぢぢぢぢぢぢぢぢ

この子のゑがはて

くるくびごとす

一の谷嫩軍記

二回目

アアその作あせ小いこるる身み法は

と初まは小こ世よををああげげららぶぶ

いとつつ小こ秋あき子のこ山やま法は

敵てき小こくくぬぬきてきて今いまやや捨すんん。

ああままぬぬ一一をを士しののまま

ひとひと太た乃のもも扱あるる一一ふふ。

初はつ子のこくくろろううと

ああままぬぬ一一

三
腹 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

腹の 腹の 腹の 腹の 腹の

今 今 今 今 今

今 今 今 今 今

ちんぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎん

しんぎんぎんぎん
新板新文文 世故村の歴

しんぎんぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎんぎん

神 ^{ちん}ぎんぎんぎん

ちんぎんぎんぎん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん
あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

あつてあつたにん

うはるまがらみ

このありひ麻生

うまをくまのざり
孫倉三代宛

可とたひめ時とたひめ船でござんたさい。いぶ

もいすまひはまのららるまーや。

せんはうまほるもあう合ん。

たひひとくどんきつけの強奉

湯いじそたうけくる業あめ。

一うまてたふし五ふし條ふしふきふしはり。

しきりーあまへん

こころまそ尾お

神やぶとけのままで

ひまわり 花のうた

ついでに 関取十四職 徳川内足

おんごて 宿を痛め女房

の。今このまじりある昔ま一に

とていかに海うみをこころこころ一かかま

とてせぬ。もまのいそれもど

なまのうた こころ 女房のうた

今やとてと。

おもやうか〜

こころ〜

すしち
なむら

なむら

すしち
なむら
なむら

このあふちあて西へ

細の備負とく

なる方へ親父が味

ちんちん

きんちん

きんちん

きんちん

きんちん

きんちん

565ちちーわん

この中の中

美陸千本橋 さーやの屋

井みらじいじい

ざらめさぬるさめ

すよふらみ葉の内信を

あまやちん

いせちん

たのちん

もあんのをー。

あぐさみくー

さるるる

かゝるしんか

居るむゆのらち

孝行へのあまれいしごと
花上野 葵の石碑 志屋吉の辰

ひらりと投てきし付る。

みのひろいふあがごぞ。

かく病風小教のいろ。

榎谷らりまきいかに

るごぞい方史をどり免

門身も奥のちあひる

風信るま。

のちひまきりしあひ

してぞこそ

神ミコのつらみ

他ほかよの君と

繪本大図記 本巻の辰

今いまつらみ

あづからあづから去年こぞのたし

洛東らくとうの地ちのたし

花はなのつらみ

さしあきしあきたつらみ

あつらあつらの

しんがひ

この昔むかしころ

ルル—GAW-UK

あまのふたすけ

いさなふたすけ
哀姫昔の女

城本町の屋

後^{ちか}のふたすけ

もと脊^{ちか}みるなぞ

ぐたすけのふたすけ

いさなふたすけ

いさなふたすけ

いさなふたすけ

いさなふたすけ

いさなふたすけ

こんまじぶこんるるぞ

かあひんまよーと

味花形しらもろがういせいのつらぬいなるよみ

やーとせうねん入いりの

こぞもいめちふかるまま

細ほの務む負せははとへあん

やうみむぞいこひのや

うたごころおちやのあひま

かるせぬるたの

かあひんまよーと

かあひんまよーと

やせいのあそび

こころのこころ

あそび日記

あそびの辰

あそびの辰のあそび

あそびの辰のあそび

あそびの辰のあそび

あそびの辰のあそび

あそびの辰のあそび

あそびの辰のあそび

あそびの辰のあそび

あそびの辰のあそび

Handwritten cursive text line 1.

Handwritten cursive text line 2.

Handwritten text with Japanese characters: 八階守護城

Handwritten cursive text line 3.

Handwritten cursive text line 4.

Handwritten cursive text line 5.

Handwritten cursive text line 6.

Handwritten cursive text line 7.

Handwritten cursive text line 8.

Handwritten cursive text line 9.

Handwritten cursive text line 10.

Handwritten cursive text line 11.

たうひやまじると

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを
あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

あいらびのふのびを

内うちちんちんちんちん

かき くらりーち

しんせんちんちんちん
新板界しんばんあや文あやのちんちん

くさくさくさくさくさくさく

ちんちんちんちんちんちんちん

おんちん ちんちんちんちんちんちん

ちんちん ちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちん ちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちん

ちんちんちんちんちんちん

ちんちんちんちん

一冊目
その筆一冊目

その筆一冊目

藤花形をあらわす者

八冊目

その筆一冊目

小用をよむとあるは

敷のきらび白ぬのゆいぞ

その筆一冊目

その筆一冊目

やごま。

その筆一冊目

その筆一冊目

よーかーは夢ゆめか

おんくは夢ゆめかー

夢ゆめ昔むかし八丈やちやう 城しろ名なの屋や

くすくすおんの揚あがり中なか決けつり

ちりー昔むかし夢ゆめかちるも。えん

矢やの茶ちや入いれたがたがどしー

あきかへんしんじい何なにぞと

たがひる。ちんちんちんちんのちり。矢や

あきかへんしんじい。あきかへんしん

よーのちりーちんちんちんちんのちり。

よーのちりちんちんちんちん

Satsuma

よしのぶ

このころから

がえんの浦兒軍記 終るまでの後

爾ころもうき未のころ。

ち彼ち君よりきりきりきり

ああのころころ困こるころ

ととよよのころころ

ささのころころ

かかのころころ

り。

さのころ

さのころ

そととあ〜

〜ら〜る〜は〜

オホシキガ、オホシキノオホシキ

龍容女ニ龍衣一の巻切

今レのレおレひレおレんレぎレぎレ

一年よ入ふこの園が死すレ

ちんぎんなまたくちんぎんや

ぎんぎんぎんぎんぎんぎん

扱ちふちおんぎんぎんぎんぎん

ぎんぎんぎんぎんぎんぎん

ぎんぎんぎんぎんぎん

ぎんぎんぎんぎんぎん

油の縁

二十四三冊の
初篇より
四篇

宗成

甲午
初編 全編

序之彩

甲午
乙未

大津重正
其外

甲午
乙未

繪州紙仕入所

大坂心斎橋通安堂より問合入

富士屋政七扱



